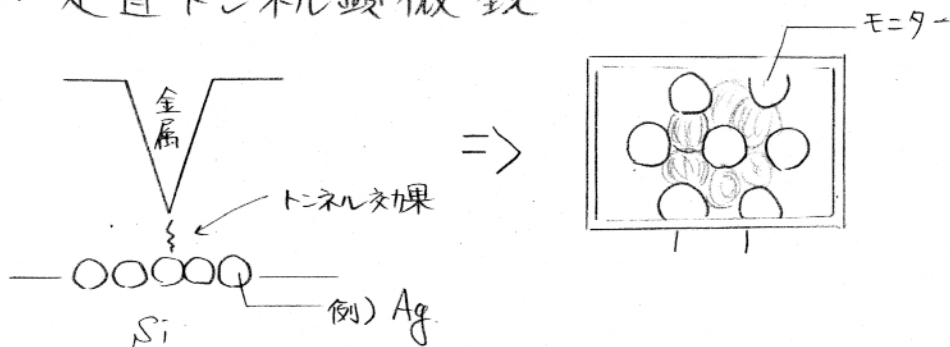


研修先 (午前)	東京大学大学院 理化学研究所
講師名・テーマ	長谷川 修 教授 (ナノの世界)

研修内容

- 高校で習う力学なんて大学 1~2 年まで  
そこから先は ナノの世界 (量子力学)
- トランジスタの小型化により  
現在のスマホや音楽プレーヤー、PC が実現される
- 顕微鏡の分解能も精度が上がった

↳ 走査トンネル顕微鏡



感想

見学の中で一番印象に残ったのは、院生の方々の生活が“研究漬け”であったことです。話を伺った院生の方によれば“朝 9 時に来て夕方まで研究室で物性について研究している”そうで、「とても熱中しているんだなあ」とその熱中ぶりに驚きました。自分も将来は研究者として、長谷川研のような研究所であれこれ調べてみたいという意欲が湧き、良い刺激になったと思っています。お忙しい中、研究所を見せて頂きありがとうございました。